

令和6年（2024年）

第8回大阪狭山市教育委員会
定例会議議事録

令和6年（2024年）8月27日 開催

大阪狭山市教育委員会

第8回大阪狭山市教育委員会定例会議議事録

令和6年(2024年)8月27日(火)

午前10時00分 開議

市役所3階 委員会室

出席委員(5名)

竹谷 好弘	教育長
山田 順久	教育長職務代理者
田川 宜子	委員
河合 洋次	委員
井上 寿美	委員

出席事務局の職員

寺下 憲志	教育監
山田 裕洋	教育部長
浜口 亮	こども政策部長
山本 泰士	こども政策部こども家庭支援担当部長
鶴田 善道	教育部次長兼教育政策グループ課長
中本 真司	教育部副理事兼教育指導グループ課長
塚本 浩二	こども政策部次長兼こども育成グループ課長
神楽所保則	教育部教育政策グループ学校給食担当課長
森口 健次	生涯学習グループ課長
樽本 敏彦	生涯学習グループ参事
岩間かおり	こども家庭支援グループ課長

書記

荒川 郁代	教育政策グループ参事
安達奈津芽	教育政策グループ課長補佐

議事日程

開会

教育長活動報告

議事

- 日程第1 議案第15号 令和7年度市立幼稚園・こども園募集人員の設定について
- 日程第2 報告第22号 教職員の処分について
- 日程第3 報告第23号 令和6年度全国学力・学習状況調査における結果と分析について
- 日程第4 報告第24号 指定管理者の指定について
- 日程第5 報告第25号 令和6年度大阪狭山市一般会計補正予算（第4号教育委員会関係）について

閉会

○各グループの報告事項

教育部長（山田裕洋）

それでは、定刻となりましたので、教育長、よろしく願いいたします。

教育長（竹谷好弘）

改めまして、おはようございます。

ただいまより、令和6年第8回の教育委員会定例会議を開会いたします。

本日の出席委員数は定足数に達しておりますので、会議は成立しておりますことをご報告いたします。

なお、議事録の署名委員は、会議規則によりまして、田川委員と河合委員を指名いたします。

教育長の活動報告でございますが、夏季休業中ということで研修等が行われました。

8月8日、毎年行っておりますタイムリー研修ということで、市人研と市の教育委員会の共催の大規模な研修ということで行いました。

8月6日、これはきりりこども園、民間の保育園ですね、こども園の公開保育を見学に行っ
てまいりました。

8月10日、平和を考える市民のつどい、参加をいたしました。

その夜ですけれども、オリンピックのブレイキンのパブリックビューイングがございました。本市からの半井選手、約300名の市民の方々の応援がございました。惜しくもメダルには届きませんでしたけれども、挑戦するというすばらしいパフォーマンスを見せていただきました。

その他各種会議に出席をしております。

教育長活動報告については以上でございます。よろしいでしょうか。

議事に入ります前にお諮りしたい案件がございます。本定例会に提出されている議案のうち、報告第22号につきましては、人事に関する案件でございますが、本件を非公開とすることについてご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしということで、報告第22号については非公開といたします。

それでは、早速ですけれども、議事に移りたいと思います。

本日の議案ですが、日程第1、議案第15号、令和7年度市立幼稚園・こども園募集人員の設定についてを議題といたします。

担当に説明を求めます。

担当。

こども政策部次長兼こども育成グループ課長（塚本浩二）

おはようございます。

そうしましたら、議案第15号、令和7年度市立幼稚園・こども園募集人員の設定についてご説明をさせていただきます。

資料の2ページをお願いいたします。

市立幼稚園及び市立こども園の募集人員につきましては、条例及び規則によりまして、定員の範囲内で年齢ごとに教育委員会が定めることとなっております。

2ページの表につきましては、各幼稚園・こども園ごとに各年齢の定員と募集予定人員を記載したのとなっております。

まず、3歳児につきましては、東幼稚園では2クラス、半田幼稚園、東野幼稚園では1クラス、こども園では定員と同数の募集人員を定めることとしております。

次に、4歳児と5歳児につきましては、1クラスの定員数35人から、下段の参考の表にあります令和6年8月1日現在の3歳児と4歳児の人数をそれぞれ差し引いた数を募集人員としております。

なお、募集要項は、9月2日から各園のほかぱっばえん、UPつぶなどで配布し、受付期間は10月1日火曜日から10月11日金曜日までとしております。

また、来年度入園予定のお子様や保護者の方

を対象にした公開保育につきましては、9月5日木曜日が半田幼稚園、6日金曜日が東野幼稚園、9日月曜日が東幼稚園、10日火曜日がこども園で行う予定にしております。

以上、簡単な説明でございますが、ご審議のほどよろしくお願ひいたします。

教育長（竹谷好弘）

ただいまの説明につきまして、何かご質問等ありますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本案を原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

本案については承認されました。

続きまして、日程第2、報告第22号、教職員の処分についてを議題といたします。

先ほどのとおり、部長、教育監、教育指導グループ課長以外の方は退席をお願いいたします。

（退 席）

（入 室）

それでは、続きまして、日程第3、報告第23号、令和6年度全国学力・学習状況調査における結果と分析についてを議題といたします。

担当に説明を求めます。

担当。

教育部副理事兼教育指導グループ課長（中本真司）

失礼いたします。

報告第23号、令和6年度全国学力・学習状況調査における結果と分析についてご説明いたします。

お配りした資料をご覧ください。

今年度の調査は、令和6年4月18日に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施されました。

1枚目には、教科に関する調査結果概要について記載しております。

まず、小学校の結果概要についてです。

小学校では、国語と算数の平均正答率が全国平均を上回る結果となりました。国語においては、とりわけ書くこと、読むことの項目において正答率が高い結果となっております。算数においては、変化と関係の領域で速さの意味について課題が見られました。

次に、中学校の結果概要についてです。

中学校におきましても、国語と数学の平均正答率が全国平均を上回る結果となっております。

国語におきましては、問題本文中の情報と資料についている情報の関係について、的確に読み取ることができておりました。数学においては、昨年度課題であったデータの活用の領域で、確率を求めることや、与えられたデータから最頻値を求める知識・技能の問題がおおむねできておりました。

続きまして、2枚目の質問紙調査の結果でございます。

まず、左上、子どもたちの自己肯定感に関する質問結果についてです。

自分にはよいところがあると思いますかという質問に対して、小・中学校共に多くの児童・生徒が肯定的に回答しました。特に先生方が日頃から子どもたちのよいところを認めていることが自己肯定感の向上に寄与していると考えております。今後も教員が児童・生徒のよいところを積極的に認めるような声かけや環境づくりを続けていきたいと考えております。

次に、子どもと教職員との関わりに関する質問結果です。左下にあります。

困り事や不安があるときに、先生や学校にいる大人に相談できますかという質問に対して、小・中学校の児童・生徒の多くが肯定的に回答していることが分かりました。

最後に、右下の地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますかという質問では、肯定的な回答が全国平均を下回りました。

地域社会に対する関心や参加意識を高めるため、今年度より進めております9年間の系統的な地域未来の学習を推進し、地域と共にある学校づくりを進めてまいりたいと考えております。

これらの結果分析を有効に活用し、今後も教育の質の向上を目指していきたいと考えております。

今回の結果につきましては、市のホームページでも公開し、保護者や地域の皆様には情報を共有しております。

各学校の分析につきましては、調査の分析結果と今後の取組について、ホームページに掲載する予定でございます。

以上、誠に簡単ではございますが、令和6年度全国学力・学習状況調査における結果の分析についてご報告いたします。

教育長（竹谷好弘）

ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

質問調査は4つの質問になっていますけれども、ほかにも質問あるんですか。

教育長（竹谷好弘）

担当。

教育部副理事兼教育指導グループ課長（中本真司）

はい、ございました。4つ以外にもございます。

今年は全校、質問につきましては、1人1台端末を使っただけの回答という形になっております。

教育委員（河合洋次）

これはどこかで公開はされてない、見ることはできないんですかね、ほかの質問とか結果とかは。

教育部副理事兼教育指導グループ課長（中本真司）

ちょっと調べさせていただきます。

教育委員（河合洋次）

タブレット、何かゲームをする時間とかなんか、あれちょっと私一回見てみたいんですけど、いつも気になるんで。

教育長（竹谷好弘）

担当。

教育部副理事兼教育指導グループ課長（中本真司）

今年度、ゲームに関する質問がまたありました。それで、結果ですけれども、中学校につきましてはやはり全国よりも多いという結果になっております。逆に小学校につきましては、全国よりも少ないという結果になっております。

教育委員（河合洋次）

ありがとうございます。

教育長（竹谷好弘）

山田委員。

教育長職務代理者（山田順久）

この結果を見させてもらって、良好な結果かなというふうに思っています。この子どもたち、3年前でも良好な結果で、3年間たつてさらに中学校でも伸ばしていただいたというふうな、そういうふうな感想を持っています。

なぜこの子どもたちがこんな形で比較的良好な結果になったのかというのをもし分析されているとしたら教えていただきたいんですけども。

教育長（竹谷好弘）

担当。

教育部副理事兼教育指導グループ課長（中本真司）

一つの例ではございますけれども、今回、四分位に分けましたところ、やっぱり一番下のところが大分右に寄っているという形で、ある一定やっぱり苦手とする子どもたちのところは改善されているということもあります。

そういった部分で、基礎・基本の定着という

部分に関しまして、やはりこの間、数年間続けてきた音読をいろんな教科で取り組むということで、やはり言葉に出して、主語と述語のねじれがないかであったりとか、言葉に出して何か違和感を感じる文書になってないかとか、そういった積み重ねで、単語としても耳からも入ってきますし、そういったところで基礎・基本の部分を大分改善されているのではないかなと考えております。

教育長職務代理人（山田順久）

国語のほう、比較的ちょっと数学に比べたら弱いというふうな結果、過去においてあったんですけれども、この結果を見るとそこがすごく改善されているなど。

そして、小学校と中学校の連携というのがやっぱりよく進んできているなどということで、本市が取り組んでいる小中一貫というのをさらに進めていく必要があるかなというふうなこれを見て感じました。

教育長（竹谷好弘）

ほかに何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本案を原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

本案については承認されました。

それでは、続きまして、日程第4、報告第24号、指定管理者の指定についてを議題といたします。

担当に説明を求めます。

担当。

生涯学習グループ参事（榎本敏彦）

それでは、報告第24号、指定管理者の指定について、生涯学習グループより説明させていただきます。

大阪狭山市立公民館及び大阪狭山市立社会教

育センターと大阪狭山市立図書館の指定管理者の候補者を非公募で選定いたしました。

非公募をした理由としましては、大阪狭山市公共施設再配置基本方針について、協議にて令和5年3月に策定されました。

上記施設については、令和5年度から14年度までの10年間の短期的な期間で、再配置、見直し、建て替え等の検討を行う施設として上げられておまして、現在、令和6年9月を目途に大阪狭山市公共施設再配置計画第1期、2025年から2032年の計画を策定中でございます。

その後、令和7年3月までに再配置計画基本構想を策定、令和7年度末までに再配置基本計画及び基本設計を策定する予定であり、早ければ令和8年度に工事の着手となる可能性がある中で、指定管理期間を5年で公募するには先行きが不透明な状況であることから、非公募による選定を行いました。

お手元の資料の教育施設に係る指定管理者の選定についてのとおり、大阪狭山市立公民館及び大阪狭山市立社会教育センターについては、アクティオ株式会社、大阪狭山市立図書館につきましては、株式会社図書館流通センターを候補者として選定いたしました。

選定した機関の候補者につきましては、9月の定例の例月議会に議案として提案し、可決後、協定の締結を経まして、令和7年4月1日から1年間、指定管理者として当該の管理運営を行うこととなります。

以上、簡単な説明でございますがご報告をいたします。

教育長（竹谷好弘）

ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本案を原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

本案については承認されました。

続きまして、日程第5、報告第25号、令和6年度大阪狭山市一般会計補正予算（第4号 教育委員会関係）についてを議題といたします。

担当に説明を求めます。

担当。

教育部次長兼教育政策グループ課長（鶴田善道）

それでは、日程第5、報告第25号、令和6年度（2024年度）大阪狭山市一般会計補正予算（第4号 教育委員会関係）につきましてご説明いたします。

本件につきましては、予算関連所属が複数ございますので、教育政策グループから一括してご説明いたします。

教育長（竹谷好弘）

資料のほうがあるので、ちょっとお持ちいただけますか。

ちょっと資料、入れてなかったのかな、これ。

教育政策グループ課長補佐（安達奈津芽）

今日解禁の資料になりまして。

教育長（竹谷好弘）

今日、解禁になるのか。ああそうか、昨日が議運でしたね。

どうでしょう、なしでいけるかな。

では、なしで説明できますか。項目を丁寧に説明していただけたらと思います。

（教育委員がパソコン画面で資料を確認しているのを見て）

じゃ、見ていただいて、すみません。不手際で申し訳ございません。

教育政策グループ課長補佐（安達奈津芽）

不手際で申し訳ございません。

教育長（竹谷好弘）

それでは、資料を見ていただいているのを前提に説明してください。

教育部次長兼教育政策グループ課長（鶴田善道）

そうしましたら、資料の10ページの下段をご覧ください。

民生費、児童福祉費、児童福祉総務費、地域子育て支援拠点施設管理事業費では、旧くみのき幼稚園内で実施している子育て広場くみのきの出入口扉のレールがゆがみ、扉の開閉が困難になっていることから、改修工事として旧くみのき幼稚園扉改修工事60万5,000円を計上しております。

次に、民生費、児童福祉費、放課後児童健全育成事業費、放課後児童会施設管理事業では、第七小学校放課後児童会の待機児童の解消を図るため、旧くみのき幼稚園の空き室等を放課後児童会への受入れ施設として改修するもので、旧くみのき幼稚園改修工事費として1,628万円を計上しております。

歳出合計1,688万5,000円の増額補正となっております。

次に、歳入についてですが、資料10ページ、上段をご覧ください。

国庫支出金、国庫補助金、民生費国庫補助金、児童福祉費補助金、子ども・子育て支援交付金として400万円を計上し、国庫支出金、国庫補助金、民生費国庫補助金、児童福祉費補助金、子ども・子育て支援事業費補助金として303万3,000円を計上し、歳入合計で703万3,000円の増額補正となっております。

以上が補正予算の内容でございますが、質問等がございましたら各担当グループから詳細についてご説明いたします。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

教育長（竹谷好弘）

ただいまの質問について何か、内容的に言って、歳入はこの工事に当たるんですか。

担当。

こども政策部次長兼こども育成グループ課長
(塚本浩二)

歳入のほうにつきましては、工事に係る国庫補助金、交付金となっております。

以上です。

教育長(竹谷好弘)

交付金と補助金とあるんですか。

こども家庭支援グループ課長(岩間かおり)

歳入のほうは、400万のほうは工事に
関するもので、303万3,000円のほうは
児童手当の制度改正のほうの準備事務費の
補助金になります。

教育長(竹谷好弘)

よろしいですか。

何かご質問等よろしいですか。

それでは、本案について承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。

本案については承認されました。

本日の議案は以上でございます。

これをもちまして、教育委員会定例会議を閉会いたします。

以上

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、署名する。

教育委員会教育長

教育委員会 委員

教育委員会 委員

教育委員会事務局職員